

がんで苦しむ人を  
一人でも減らすために、  
あなたのデザイン力を  
発揮してください。

第2回  
がん征圧  
ポスターデザイン  
コンテスト

最優秀作品は全国の自治体、  
保健所、病院などで掲示されます。

日本対がん協会は、がん征圧月間の9月に全国の自治体でがん検診の受診を呼びかけるポスターデザインを募集します。いま、日本人の2人に1人が生涯に一度はがんを患い、3人に1人ががんで亡くなっています。誰も、がんとかかわりのない暮らしを送ることが難しい時代です。しかし早期に見つけて適切な治療を受けると、治るケースも少なくありません。そのカギは検診です。

国の勧める検診は胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの5つです。しかしその受診率は20～30%と低く、国の目標50%（胃・肺・大腸は当面40%）にほど遠いのが実情です。日本対がん協会は昭和35年（1960年）から9月を「がん征圧月間」と提唱し、全国で検診の受診を呼びかけてきましたが、それでも受診率はなかなか上がりません。

一人ひとり、みんな誰かを大切に思い、誰かに大切に思われています。あなたのデザインを通して伝えるメッセージが、そんな大切な人の命を守ります。

#### 応募方法

##### ① エントリー

- 公式ホームページの応募フォームに必要事項を入力し、エントリーしてください。

<http://www.jcsposter.com/>

##### ② 応募

指定の応募用紙（複写可、ただし原寸 A4 サイズ）と作品（B2 版用紙）を郵送でご応募ください。

募集期間 **2014年1月6日～2月28日**  
(消印有効)

#### 審査員

秋山耿太郎（公益財団法人日本対がん協会理事長）  
田中裕彦（厚生労働省健康局がん対策・健康増進課課長補佐）  
中川恵一（東京大学医学部附属病院放射線科准教授）  
廣村正彰（グラフィックデザイナー）  
本田亮（クリエイティブディレクター）

#### 贈賞

##### 最優秀賞…1点

最優秀賞作品は、9月のがん征圧月間をアピールするためのポスターとして活用します。ポスターは5万部ほど制作し、全国の自治体、保健所、病院などで掲示されます。副賞として10万円分の商品券を進呈します。

##### 優秀賞…3点

#### 応募資格

##### 大学生・大学院生・短大生・専門学校生

- ※グループ応募も可能です。（メンバー全員が応募資格を有していること。）
- ※1人もしくは1グループで複数応募できます。

#### 作品の形式

##### サイズ：B2判

- ・デザインの下部6cm以下は空白で提出してください。
- ・デザインのどこかに日本対がん協会のロゴマークを入れてください。ロゴマークはエントリーの際に登録したアドレスに送付します。
- ・デザインのどこかに以下の文言を入れてください。デザインにはこの他に自分で考えたコピーを入れても構いません。

9月、がん征圧月間  
全国大会 2014.9.5 福岡市



公益財団法人

日本対がん協会

東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル13F / TEL: 03-5218-4771